

3.4 対象サイトにおける地雷・不発弾最新状況

(1) 概況

対象3橋梁サイトにおける地雷/不発弾(UXOs)最新状況をまとめると以下の通りである。

- ・カトゥンベラ橋(地雷除去必要): 戦略重要拠点であり、状況が曖昧であるが、局所的(およそ400m²程度)に政府軍が設置した地雷が残っている可能性がある。
- ・コランゴ橋(地雷除去不要): HALO Trust が2004年2月にB/Dに必要な同橋を中心とした区域(17,705m²)における地雷/UXOs除去を完了させている。
- ・バロンボ橋(地雷/UXOs除去必要): HALO Trust がImpact survey(予備的調査)を2005年5月に実施し、橋梁周辺に多数の地雷/UXOsが存在する可能性を明らかにした。除去はまだ実施されていない。

ベンゲラHALO Trustへのヒアリングから対象3橋にかかる次の全般的な情報も得られた。

- ・対象3橋梁付近では砲撃戦が行われたことは少なく、河川内に不発弾が残置している可能性はほとんどない。不発弾の殆どは地表で見つかり、埋まっても深さ20cmを超えない。したがって、不発弾・地雷はあったとしても全て雨期に流されてしまい、今まで上流から新たな地雷/UXOsが流れ着いてきて発見された事はない。
- ・ベンゲラ州内ではアフガニスタンで米軍が使用したようなクラスター爆弾(地雷をばらまく子爆弾を含んだ親爆弾。地表近くで炸裂し一瞬にして広範囲を地雷原とする)は使用されず、地雷敷設は手作業で行われた。

現地踏査は2005年8月23日及び25日の2回実施したが、現場は元ないし現地地雷原の中心に位置するため、現場への立ち入りは、INEA職員と同行しつつも、極めて制約された行動範囲内で細心の注意を払って行った。行動範囲はカトゥンベラ橋では同橋を警備する警官の案内する範囲、コランゴ橋では特定の地雷除去範囲内のみに、バロンボ橋では道路・橋梁上のみに限定された。以下、関係機関へのヒアリングと現地踏査結果に基づく各対象橋梁の最新状況を詳述する。

(2) カトゥンベラ橋

1) 最新地雷/UXOs状況

ロピト市郊外に位置するカトゥンベラ橋周辺は、道路橋のみならず、鉄道橋、農業用水管橋など主要都市ベンゲラとロピトを結ぶ施設が一箇所に集中し戦略上非常に重要な拠点であったため、内戦期間中も完全に政府軍の勢力下に置かれ戦場にはならなかった。現在でも、橋には同橋警護のための警察署が置かれ、交通整理と24時間体制での橋の警備を行っている。

同橋は戦場にはならなかった事もありUXOsは存在しないと考えられるが、地雷については、関係機関・人により「あり」「なし」と様々に見解が分かれ、情報が曖昧である。CNIDAHの地雷データベースIMSMAにも地雷残置を示す情報は示されていない(図3.1)。ベンゲラHALO Trustからは、そのように曖昧な場合は慎重を期したほうが良いとの示唆を得た。

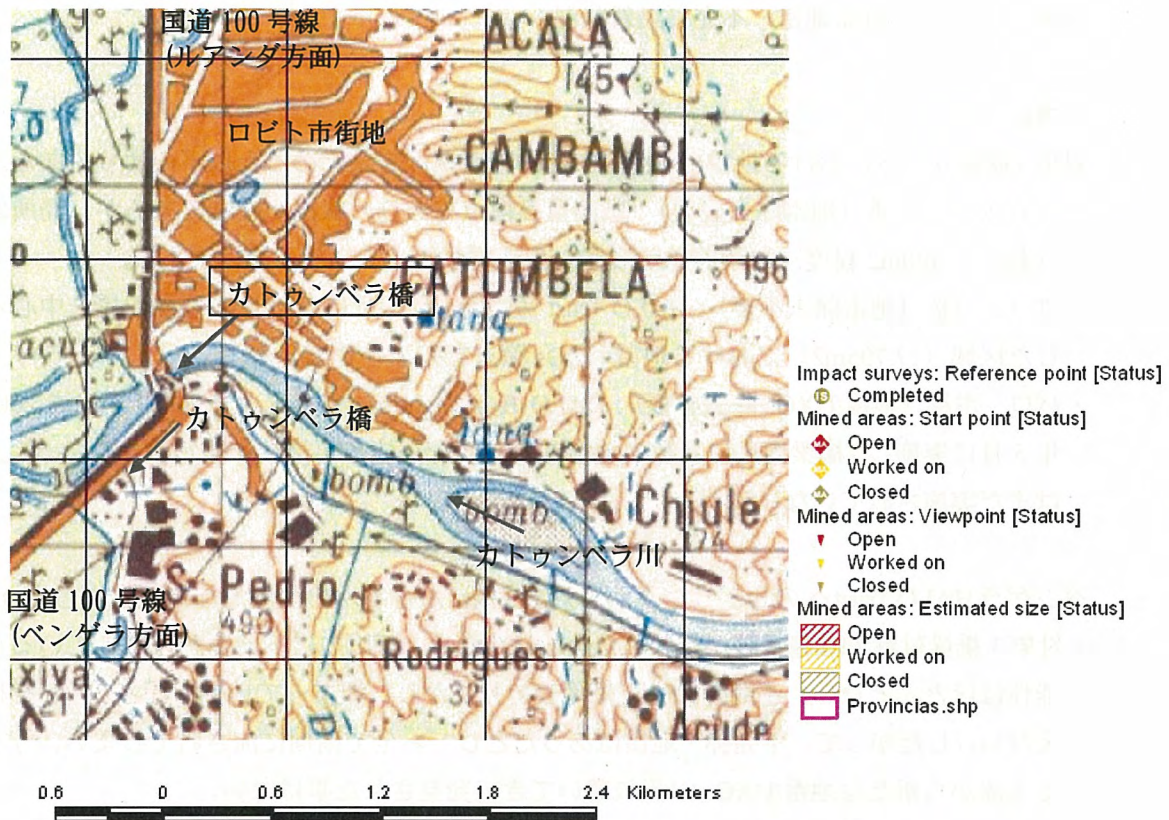


図 3.1 カトウンベラ橋周辺における最新地雷状況

出典：CNIDAH の IMSMA 出力(2005 年 8 月) (原図から必要情報を切り出し再構成)

したがって、調査団は現地で得た以下の3つの状況証拠から、最終的にカトウンベラ橋においては地雷除去が「必要」と判断した。

- ・道路橋と農業用水管橋間のベンゲラ側河岸のブッシュ（右の写真の対岸）には、面積はそれほど広がらないが、政府軍が設置した地雷が残置している可能性があるとの情報を得た（橋を警護している警官が状況説明と現場案内）。ベンゲラ HALO Trust に伝えたところ、彼らも知らなかった新情報であった。水管橋より下流側河岸には一時的な耕作地もあり安全と考えられる。



- ・道路橋直上流で建設中の中国借款による水道橋では、施工にあたり政府軍（FAA）が左右岸とも地雷除去を2005年7月に実施した。所用期間約1ヶ月で幸い地雷は見つからなかった模様である。CNIDAHの調整の基、施工業者はFAAに作業を委託したが、除去は簡便な方法で行った（UN基準は満たさず）。
- ・ベンゲラ INEA のエンジニアによると、かつて道路橋の補修を行っていて、作業員が橋の上から誤って工具をベンゲラ側河岸（詳細な位置は不明）に落としたところ、偶然地雷上に落ち爆発した事がある。

2) 地雷除去必要範囲

上記1) の情報に基づき、B/D 実施に際して必要となる地雷除去必要範囲を橋梁計画/道路計画の見地から図 3.2 の通り設定した。架橋位置代替案により以下のように想定される。

- ・代替案 1 (要請書の Proposed Bridge の位置 (現橋と施工中水道橋の間)) : 地雷除去「不要」(現在、水道橋施工に伴い地面をかく乱し、資機材を置き、建機・作業員も用地内を自由に動いている状態から判断して地雷は存在しないと考えることが妥当)
- ・代替案 2 (現橋直下流の農業用水管橋の位置) : 地雷/UxOs 除去「必要」
政府軍が設置した地雷が河岸の藪の中に残置している可能性あり。必要除去面積は、念のため左右岸とも除去するものとして、およそ 400m² となる。



図 3.2 カトゥンベラ橋における地雷除去必要範囲